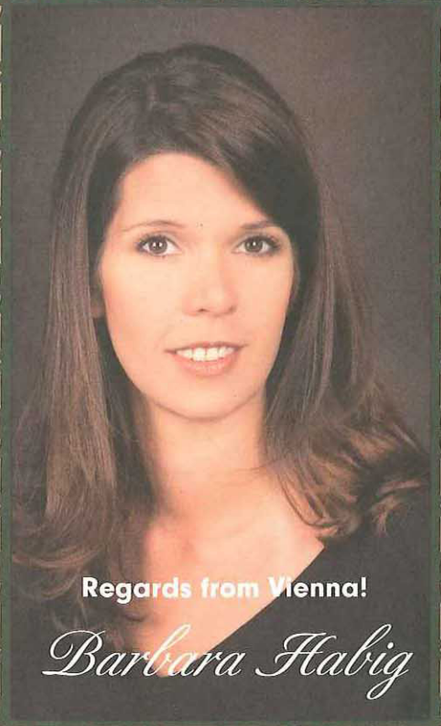


Barbara Habig
VIENNA

HEADWEAR VIENNA

P.&C.

HABIG

KAIS. u. KÖN.
HOF-HUTFABRIKANTEN

WIEN

オーストリー・ハンガリー帝国
皇帝フランツ・ヨーゼフ1世陛下
宮廷御用達およびオーストリー・ハンガリー帝国宮廷帽子製造業者

ドイツ皇后および
王妃アウグステ・ヴィクトリア陛下
宮廷御用達

英国国王エドワード7世陛下
宮廷御用達

ギリシャ国王
ゲオルグ1世陛下
宮廷御用達

セルビア国王
ペーター1世陛下
宮廷御用達

ルクセンブルクおよび
ナッサウ公
ヴィルヘルム4世殿下
宮廷御用達

プロイセン公
フリードリヒ・
レオポルド皇太子殿下
宮廷御用達

オーストリー・ハンガリー帝国大公
宮廷御用達

オーストリー・エステ大公フランツ・フェルディナント殿下、カール・ルートヴィヒ殿下、オットー殿下、
フェルディナント・カール殿下、フランツ・サルヴァトール殿下、カール・フランツ・ヨーゼフ殿下

最高勲章

鉄冠三等勲章騎士
帝政オーストリー フランツ・ヨーゼフ勲章騎士
功労十字勲章および冠
帝政ロシア スタニスラウス二等勲章司令官
フランス レジオン・ド＝ヌール勲章シュヴァリエ(騎士)
フランツ・ヨーゼフ皇帝陛下最高表彰
フランツ・ヨーゼフ皇帝陛下最高褒賞

賞および博覧会

1870年カッセル博覧会　金メダル
1873年ウィーン万国博覧会
(終身無鑑査) 審査員
1876年フィラデルフィア万国博覧会優勝、
大メダル
1878年パリ万国博覧会　金メダル

1885年アントワープ万国博覧会　名誉賞
および金メダル
1888年ブリュッセル万国博覧会　名誉賞
および金メダル
1891年ヴィッテンベルゲ博覧会
金メダル

1893年シカゴ万国博覧会　優勝、金メダル
1900年パリ万国博覧会　グランプリ、最優秀賞
1902年サンクトペテルブルク衣服産業展　大金メダル、最優秀賞
1910年ウィーン第1回国際狩猟博覧会 (終身無鑑査)

会社の沿革

ハービッグ家はフライブルクの出身で、その系譜は1550年までたどることができます。
1853年にペーター・ハービッグはウィーンにやってきました。5年間の見習い期間を経て、彼は帽子製造職人の資格を手にしました。その当時、小さなハービッグ帽子店には、たった一人の見習いしかいませんでした。1865年からは、兄弟であるカールがいくつかある小さな工房の手伝いをするようになりました。これらの工房では、シルクハットと、そのころ大人気を博していた「シェミッセ・ガレット(Chemisse Galett)」ハットの製造のみを行っていました。

フェルト帽の量産に向けて初の試みが開始されたのも、この時代です。
「P. u. C. Habig」社が設立され、1870年にカッセルで開かれた国際博覧会で金メダルを獲得したことにより、同社は国際化の第一歩を踏み出しました。ウィーン万国博覧会において、製品のずば抜けたすばらしさによって「終身無鑑査・審査員(Hors concours Juror)」に選ばれたことが、世界的ブランドとなる礎となりました。

1874年にP. u. C. Habig社は、ウィーンのケルントナー通りにあるパレー・テデスコに洗練された小売店を開業しました。1882年には、ドイツや諸外国からの注文に応えるために、ヴィードナー本通りに最新設備の近代的な大規模工場が新築されました。
1888年には、特に贅を尽くした支店がベルリンのフリードリヒ通りにオープンしました。

このようにして将来的なあらゆるニーズに応えられるように住宅、事務所、店舗を完備した近代的な工場が生まれました。
オーストリー帽子製造業者クラブの創設者である商業顧問官ペーター・ハービッグは、オーストリーの帽子ファッション組合とウィーンの帽子製造業者協同組合でも指導的な役割を果たし、国際博覧会委員会の委員長にも、度々も就任しています。また彼は企業の福利厚生に関して、勤続20年以上の全従業員への報酬や、有能な見習いへ報奨金支給制度を提案した最初の人物でした。
ニーダーエスターライヒ州の同業組合は、彼を仲裁委員会のメンバーに任命しました。
また、ウィーンにある産業技術博物館に、私財を投じて実演用の帽子製造工房を設置しました。
数多くの勲章を授与したウィーンファッション界の評判を高めるのに貢献した一人であり、またオーストリーのファッション衣料産業のパイオニアであったペーター・ハービッグは、1916年1月4日にウィーンで亡くなりました。

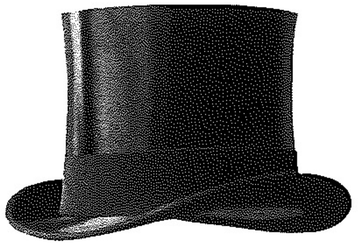
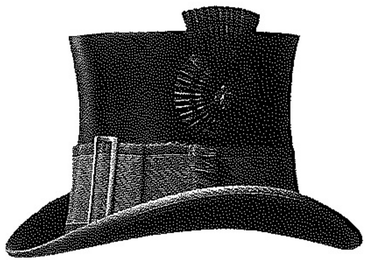
第一次世界大戦後、ハービッグ社は従業員の雇用を維持しようと試みましたが、インフレーションと経済不況の影響を大きく受けました。第二次世界大戦が勃発すると、原材料と労働力の不足により、生産量は最低ラインにまで縮小されました。

戦後ほどなく製造を開始した業者の中の一社であるP. u. C. Habig社は、古い在庫を使って帽子の生産を再開し、配給券や衣料切符との引き替えによる帽子の販売を許可されました。当時の主な仕事は帽子の修繕で、この仕事のおかげで、会社は経営を維持することができました。

ケルントナー通りの店舗の売却後、1969年3月20日にカール・F・ハービッグは4代目として会社の経営を引き継ぎました。

経営の近代化と合理化が、当時のP. u. C. Habig社の課題でした。

1971年と1972年に広範囲にわたる海外出張を行い、厳しい時代を乗り越え、
新規販売代理店と輸入業者との提携を開始し、新しい市場が開拓されたのです。

出典:「オーストリーの国家勲章受章者」、Jupiter Verlagsgesellschaft mbH社、ウィーン1978年

2006年にバーバラ・ハービッグ(カール・F・ハービッグの娘)が、高級帽の新製品ラインの販売を開始しました。
高級感があり、しかも意外性のある素材の組み合わせが、
選りすぐりの個性あふれるハービッグ・ハット・コレクションの特徴です。